

環境経営レポート

対象期間 2023 年 9 月～2024 年 8 月



作成日 2024 年 10 月 7 日

《はじめに》

私たちは創業以来、経営理念である「感動の経営」のもと、お客様と従業員を第一に考え、餃子を主力とする中華巻物惣菜の製造・販売を行ってまいりましたが、私たちが作る餃子の原料となる肉や野菜はもちろん、製造段階で排出される残渣や廃棄物処理においても地球環境に直結していることから、私たちが事業を永続させるうえでは、環境に配慮することが大変重要であるとの考えに至りました。そこで、私たちはエコアクション 21 に継続的にチャレンジし環境経営を推進していくこととしました。

株式会社みまつ食品

代表取締役社長 神山光永

《目次》

I. 組織の概要	2
II. 対象範囲	2
III. 環境経営方針	3
IV. エコアクション 21 推進組織図	4
V. 環境経営目標・環境経営計画	5
VI. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	6
VII. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	7
VIII. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	10
IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示	11

I. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

株式会社みまつ食品 代表取締役社長 神山光永

2. 所在地

本社工場 〒379-2153 群馬県前橋市上大島町 2-1
野中工場 〒379-2166 群馬県前橋市野中町 474-6
餃子工房 RON 〒379-2166 群馬県前橋市野中町 401-3

3. 環境保全関係の責任者及び事務局連絡先

最 高 責 任 者 : 神山光永
環境管理責任者 : 古澤篤志
事 務 局 : 西澤延之
TEL 027-261-2534 FAX 027-263-2396

4. 事業の内容

餃子、焼売、春巻等の中華巻物惣菜の製造

5. 事業規模

活動規模	単位	2022 年 9 月 ~ 2023 年 8 月	2023 年 9 月 ~ 2024 年 8 月
生産量	百万粒	311	305
従業員数	人	320	304
延べ床面積	m ²	11,865	11,865

II. 対象範囲

1. 対象範囲

株式会社みまつ食品 全組織及び全活動

2. 対象事業所

本社工場、野中工場、餃子工房 RON

Ⅲ．環境経営方針

基本理念

私たちの使命は、商品を通してお客様に感動をお届けすることです。そして、それと同時に従業員やその家族、取引先などの関わる全ての人たちの幸せを目指しています。

そのためにも、食品製造に携わる私たちは、地球からの恩恵により商品づくりが成り立つという起源に着目し、そして感謝し、地球環境に配慮した活動に取り組み、継続的な改善に努めてまいります。

基本方針

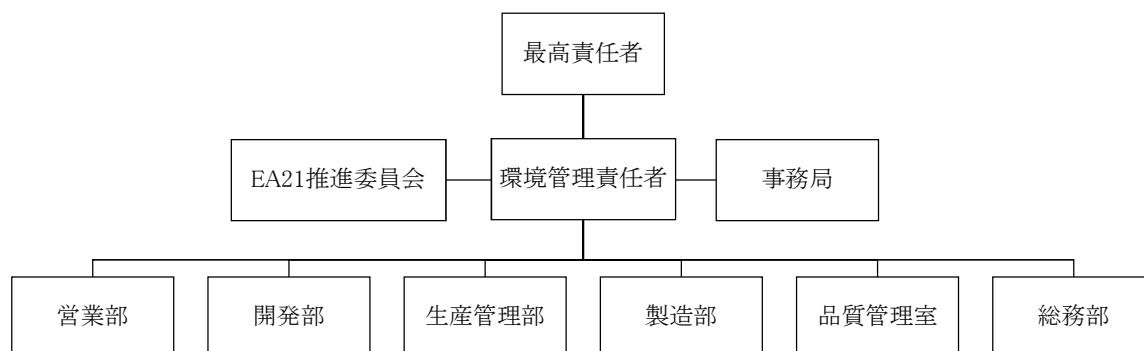
1. 安心・安全な食品の提供と環境に配慮した製品づくりを行います。
2. 当社は次の環境課題に対して年度目標を設定し、全従業員で環境活動に取り組みます。
 - ① 電気・ガス等の消費による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ② 廃棄物の減量、食品ロスの削減に努めます。
 - ③ 水資源の使用量を節減します。
 - ④ 洗剤などの化学物質の適正管理を行い、使用量を削減します。
3. 環境関連法令を遵守します。
4. 本方針を全従業員に周知、徹底します。

2023年9月1日

株式会社みまつ食品

代表取締役社長 神山光永

IV. エコアクション 21 推進組織図



職名	役割
【最高責任者】 代表取締役社長 神山光永	①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。 該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション 21 の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション 21 の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・目標・計画等、システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。 ⑤当社における課題とチャンス进行明確化する。
【環境管理責任者】 専務取締役 古澤篤志	①エコアクション 21 に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション 21 の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
【事務局】 総務部 部長 西澤延之	①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション 21 に関する実務全般を所管する。
【EA21 推進委員会】	①最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月 1 回環境管理責任者が召集する。 ②環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

V. 環境経営目標・環境経営計画

環境経営目標						実施事項
	項目	基準年 (実績)	2022 年度 目標	2023 年度 目標	2024 年度 目標	
1	生産量 100 万粒 当たり 二酸化炭素排出量 の削減	2021 年度 (11,220 kg-CO2 /100 万粒)	2021 年度 に対して 1%減	2021 年度 に対して 36%減	2021 年度 に対して 37%減	①空調温度適正化
						②照明・PC 電源不要時の OFF の推進
						③エアコン清掃の実施
						④エコドライブ推進
						⑤社用車の点検・整備
						⑥電力、ガソリン量の集計
						⑦ボイラーの燃料転換
						⑧目標達成状況・活動進捗状況確認
2	生産量 100 万粒 当たり 廃棄物の削減	2021 年度 (1,555 kg /100 万粒)	2021 年度 に対して 1%減	2021 年度 に対して 2%減	2021 年度 に対して 3%減	①分別ルールの徹底
						②廃棄物置場の整備
						③廃棄物排出量の集計
						④裏紙使用ルールの徹底
						⑤目標達成状況・活動進捗状況確認
3	水使用量の削減	2021 年度 (93,687 m ³)	2021 年度 に対して 1%減	2021 年度 に対して 2%減	2021 年度 に対して 3%減	①毎月のメータ確認（漏水防止）
						②手洗いの節水
						③工場内での節水教育
						④目標達成状況・活動進捗状況確認
4	化学物質取扱及び 管理の徹底	—	取扱商品の 調査	取扱商品の 調査・管理 手順の策定	管理手順の 遵守	①取扱商品（化学物質含有）の調査 ②購入量の把握 ③SDS の更新 ④管理手順の遵守確認 （化学物質含有の場合）
5	食品循環資源の 再生利用等の 実施率	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	①動植物性残渣排出量の集計
						②分別ルールの教育
						③分別ルールの徹底
						④排出量削減の取り組み
						⑤目標達成状況・活動進捗状況確認

※購入電力の排出係数は、0.390kg-CO2/kWh【東京電力エネルギーパートナー(株)】を使用しています。

VI. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

【空調温度設定の適正化】



年2回（11月、5月）の事務所棟のエアコン設定温度の切替えを行った。リモコンカバーの設置は継続しており、会社が設定した温度から無断で変更できないようにしています。

【エアコン清掃の実施】

設備業者様とエアコンの保守契約を結び、3ヶ月に1回の頻度でフィルター清掃を行っている。同様に、吸排気フィルターにおいても清掃を行っている。今期においても計画通り実施済みです。

【エコドライブ推進】

運転管理者に対して朝礼で周知を行っている。毎月、運転日報から燃費計算を行っており、燃費の推移を確認しています。

【社用車の点検・整備】

自動車整備工場と提携し、毎月第3土曜日にエンジンオイル交換や電気系統（ランプ等）の点検を行っており、今期においても計画通り実施しました。

【ゴミ分別の再教育】

全従業員を対象にゴミの分別研修を実施した。特に、廃プラスチック類は2種類（廃プラスチック、RPF原料）に分別することを開始し、RPF原料として再資源化にも取り組んだ。その結果、廃プラスチック類の38%をRPF原料に転換することができました。

【照明のLED化】

本社工場内の蛍光灯をすべてLED照明に切り替えました。



VII－１．環境経営目標及び環境経営計画の実績とその評価

環境経営目標					実施事項	評価
	項目	2024 年度 目標値	2024 年度 実績	目標の 達成状況		
1	生産量 100 万粒 当たり 二酸化炭素排出量 の削減	7,068 kg-CO2 /100 万粒 以下	5,327.6 kg-CO2 /100 万粒	達成	①空調温度適正化	◎
					②照明・PC 電源不要時の OFF の推進	○
					③エアコン清掃の実施	◎
					④エコドライブ推進	◎
					⑤社用車の点検・整備	◎
					⑥電力、ガソリン量の集計	◎
2	生産量 100 万粒 当たり 廃棄物の削減	1,508 kg /100 万粒 以下	1,420.6 kg /100 万粒 以下	達成	①分別ルールの徹底	◎
					②廃棄物置場の整備	◎
					③廃棄物排出量の集計	◎
					④裏紙使用ルールの徹底	○
3	水使用量の削減	90,876 m ³ 以下	82,819 m ³	達成	①毎月のメータ確認（漏水防止）	◎
					②節水表示	×
					③手洗いの節水	×
					④工場内での節水教育	○
4	化学物質取扱及び 管理の徹底	取扱商品の 調査・管理 手順の策定	管理手順の 遵守	達成	①取扱商品（化学物質含有）の調査	◎
					②購入量の把握	◎
					③SDS の入手	◎
					④取扱商品一覧表の作成	◎
					⑤管理手順の策定 （化学物質含有の場合）	◎
5	食品循環資源の 再生利用等の 実施率	実施率 100%	実施率 100% 〔肥料化〕 100%	達成	①動植物性残渣排出量の集計	◎
					②分別ルールの徹底	◎
					③排出量削減の取り組み	◎

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

《主な環境負荷実績》

	単位	2021 年度 (基準年)	2024 年度 (レポート対象期間)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	3, 839, 218	1, 628, 137
廃棄物排出量	kg	532, 134	434, 130
食品廃棄物発生量	t	572	501
再生利用実施率	—	100%	100%
水使用量	m ³	93, 687	82, 819

※二酸化炭素の排出係数 2021 年度 0. 443kg-CO2/kWh 【東京電力エナジーパートナー(株)】

2024 年度 0. 390kg-CO2/kWh 【東京電力エナジーパートナー(株)】

VII-2. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標						実施事項
	項目	基準年 (実績)	2025 年度 目標	2026 年度 目標	2027 年度 目標	
1	生産量 100 万粒 当たり 二酸化炭素排出量 の削減	2021 年度 (11,220 kg-CO2 /100 万粒)	2021 年度 に対して 38%減	2021 年度 に対して 39%減	2021 年度 に対して 40%減	①空調温度適正化
						②照明・PC 電源不要時の OFF の推進
						③エアコン清掃の実施
						④エコドライブ推進
						⑤社用車の点検・整備
						⑥電力、ガソリン量の集計
						⑦ボイラーの燃料転換
						⑧目標達成状況・活動進捗状況確認
2	生産量 100 万粒 当たり 廃棄物の削減	2021 年度 (1,555 kg /100 万粒)	2021 年度 に対して 4%減	2021 年度 に対して 5%減	2021 年度 に対して 6%減	①分別ルールの徹底
						②廃棄物置場の整備
						③廃棄物排出量の集計
						④裏紙使用ルールの徹底
						⑤目標達成状況・活動進捗状況確認
3	水使用量の削減	2021 年度 (93,687 m ³)	2021 年度 に対して 4%減	2021 年度 に対して 5%減	2021 年度 に対して 6%減	①毎月のメータ確認（漏水防止）
						②手洗いの節水
						③工場内での節水教育
						④目標達成状況・活動進捗状況確認
4	化学物質取扱及び 管理の徹底	—	管理手順の 遵守と 見直し	管理手順の 遵守と 見直し	管理手順の 遵守と 見直し	①取扱商品（化学物質含有）の調査
						②購入量の把握
						③SDS の更新
						④管理手順の遵守確認 （化学物質含有の場合）
5	食品循環資源の 再生利用等の 実施率	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	①動植物性残渣排出量の集計
						②分別ルールの教育
						③分別ルールの徹底
						④排出量削減の取り組み
						⑤目標達成状況・活動進捗状況確認

VIII. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
省エネ法	エネルギー使用状況報告	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検(1回/3ヶ月)の実施 定期点検(1回/1年)の実施	遵法
大気汚染防止法	特定施設の届出	遵法
水質汚濁防止法	特定施設の届出	遵法
水道法	定期検査の実施	遵法
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
廃棄物処理法	契約書・マニフェスト管理	遵法
食品リサイクル法	定期報告書の提出	遵法
消防法	消防設備の管理	遵法
高圧ガス保安法	高圧ガス製造事業届出	遵法
群馬県の生活環境を保全する条例	特定施設の届出	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。
なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

本年度においても目標達成したことは素晴らしい結果でした。特に、二酸化炭素排出削減目標は大幅な設定変更を行ったが、それをもクリアすることができました。社内の地道な取り組みはもちろん、大型削減手段を組み合わせることで達成できたと考えます。

ところで、水使用量については目標達成できているが、上水、井水それぞれで実績を見ると上水で大幅に使用量が増加してしまった。節水に関する取り組みの周知不足、コンセンサスが図れなかったことが要因と考えられます。今後でも取り組みの周知を課題として捉え、全社でエコアクション21に取り組んでいきます。

廃棄物の削減については業務に直結する活動のため、取り組みと成果が結び付きやすいです。日常的にエコアクション21を意識できると同時に達成感も共有できるため、これらの取り組みからコンセンサスを醸成し今後のエコアクション21の活動に繋げていけるように進めます。

2024 年 10 月 7 日

代表取締役社長 神山光永